

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212R401		母性看護学実習 (Clinical Practice of Maternal Nursing)					母性看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	2	4	医学部看護学科	前	他	日本語			複数(共同)						
担当教員	氏名 幸松美智子 小柳 麻央 E-mail yukimats@oita-u.ac.jp (幸松) 内線 5075 (幸松)														
授業の概要	妊娠・分娩・産褥各期の女性と、胎児・新生児およびその家族を理解した上で、適切な看護援助の知識と技術、態度を養う。個別性のある看護を考え、実践・評価するとい一連の看護過程を展開する。保健・医療・福祉チームにおける母性看護の役割を理解する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 病棟実習では、周産期の患者を受け持ち、全体像を述べるができる。															
目標2 対象への個別性のある看護計画を一部でも立案し、実践、報告、評価を行うことができる。															
目標3 妊娠期から産褥期、新生児期における一連の看護および地域との連携を見学し、包括的母性看護実践の展開について述べる事が															
目標4 カナルスを通して看護実践を振り返り、積極的に意見交換に参加し他者と学びを共有する中で、自己の課題を言語化できる。															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									3	3	2	1	1		
授業の内容															
1	実習期間:2週間														
2	実習内容:オリエンテーション(0.5日)														
3	大分大学医学部付属病院・病棟実習(4.5~5日)、NICU/GCU実習(2日)、母親学級見学														
4	生野助産院実習(2日)														
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニング	A:知識の定着・確認	・事前学習や技術練習が行えるよう母性・小児実習室を学生の要望に応じて開放し、必要があれば指導に入る。				工夫	・病棟実習でのグループワークやテーマカンファレンスを通して、母性看護実践の学びや課題を明らかにし、看護の本質を追求できるよう支援する。								
	B:意見の表現・交換					その他									
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	実習開始までに、事前学習課題(Moodleに提示)に取り組み、母性看護学に必要な知識・技術の復習を行う(45h)													
	事後学修	受け持つ対象者の身体的・心理的側面を理解するために必要な知識・技術の学習とともに、日々の看護計画の立案、実践、評価を行う(45h)													
	想定時間合計	90													
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 中込さと子他(2024):ナースング・グラフィカ母性看護学 概論・リブダクティブヘルスと看護、第3版、メディカ出版。ISBN978-4-8404-8160-1 小林康江他(2024):ナースング・グラフィカ母性看護学 母性看護の実践、第3版、メディカ出版。ISBN978-4-8404-8161-8 医療情報科学研究所編集(2018):病気がみえるVol.10産科、第4版、メディクメディア。ISBN978-4-89632-713-7 														
参考書	適宜紹介する														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		実習記録・看護実践の評価	65%									
	学習意欲・態度の評価	35%										
注意事項	実習終了翌週月曜日の指定時間までに実習記録・自己評価表を提出する。											
備考	学外施設（助産院）までの交通費は自己負担となる。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の実務 経験	幸松美智子（看護師）、小柳麻央（看護師・助産師）											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無												
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	助産師、看護師											
実務経験を いかした教 育内容	母性看護実習の臨地指導および母性看護過程の展開を指導する。											